

奔西走



この日は岡山市
主催の戦没者追悼
式も営まれました。
一六〇〇人の参加

自治体の加盟する「平
和首長会議」は核兵器禁
止条約を推進し、核兵器

平和の声をあげる市政を

ピースキャンドル(6/29)



核兵器禁止条約採択！ 平和の願いを岡山市から

核兵器違法化の条約

7月7日、国連で核兵器禁止条約が百二十二か国の賛成で採択されました。人類史上初めての核兵器の違法化であり、日本の被爆者などの長年にわたる運動の成果です。

継続する市民の運動

しかし日本政府は、核兵器禁止条約に署名しないと表明しました。核保有国と同じ立場に立つ情けない有様で、国内外から批判されています。被爆国の声を届けるため、日本共産党は志位委員長や大平よしのお衆院議員(中国比例ブロック)らが国連の核兵器禁止条約会議に参加しました。

核兵器廃絶を求める運動は、岡山市民もねばり強く続けてきました。6月29日の岡山空襲の日の夜、若者たちが「しろちか」にて空襲体験を聞き、追悼のろうそくを灯す「ピースキャンドル」を行いました。今年

を12回目です。



平和七夕まつり(北区表町)

者を前に、子どもたちが核兵器廃絶をめざす「岡山市平和都市宣言」を読み上げました。シテイミュージアム内では、岡山戦災の記録と写真展が開かれました。第40回になります。千羽鶴などを飾る「平和七夕祭り」が表町商店街を彩り、核廃絶をアピールし東京から広島まで歩く平和行進の一行が、その下を行進しました。

ひまわり

7月2日に福浜学区の四町内会の消防訓練が行われ、消防団の福浜分団の一員として参加しました。福浜分団の水出し操作の披露の他、起振車やAED体験、町内の自衛消防の放水をしました。普段の備えの大事さを実感しました。(東つよし)



視察報告 他都市の経験を市政に活かします

日本共産党岡山市議団は7月3日～5日、5自治体を視察しました。得た知見は議会質問などで岡山市政に活かします。

子どもの貧困対策（荒川区）

東京都荒川区では「区民総幸福度」向上を掲げ、最も厳しい状況にある貧困状態の子どもの対策を行っています。困難を抱えた家庭に、使える制度を全て紹介できるように、職員が研修をしています。子ども達に食事を提供し、勉強を見る居場所づくりに補助をしています。

地域猫（新宿区）

東京都新宿区は野良猫のトラブルを避け、不幸な猫を減らしていくため、去勢不妊手術に補助金を出す「地域猫事業」を行っています。ハンコ一つで誰でも使える手軽さです。岡山市も始めはしましたが、煩雑すぎる手続きが問題です。

高齢者施策（北区）

東京都北区では17ヶ所の地域包括支援センターが高齢者などの相談を受けます。地域や企業、公的機関の連絡をうけ、ごみ屋敷のようなセルフネグレクトの不安がある高齢者を

訪問します。区は「サポート医」を配置、必要に応じて訪問に同行し、医療につなげています。高齢者に必要なケアを行うには医療と介護の連携が必要ですが、医師が他職種と率直に話しにくい場合があります。北区では連携の会議の際、意義を話す努力を約一年続けて克服したということです。

ごみの減量（横浜市）

岡山市はごみ減量を理由に有料ごみ袋を導入しました。一度は減量しましたが、また増えています。一方横浜市は無料のまま10年間で43%を減量しました。徹底した市民啓発がカ

総社市が障がい者千人雇用を達成

総社市がとりくんできた「障がい者千人雇用事業」は、5月に雇用一〇〇〇人を達成しました。東市議は7月9日の記念フォーラムに参加しました。ここで総社市長は一五〇〇人雇用という新たな目標を宣言し、工賃の引き上げなど質の向上



も目指すと言いました。

総社市では障がい者雇用の6割が企業での一般就労です。「障がい者千人雇用センター」が一人ひとりの状況を把握し、企業に働きかけているのです。岡山市の人口は総社市の十倍以上です。岡山市が真摯に学べば大きな成果が生まれます。

ギで、今も新たな目標を持ち、ゴミを減らしています。事業系ゴミも展開検査の徹底などで減量化を進めています。



施設焼却で焼却施設を2つ廃止、節約額は1100億円です

民間委託の問題（足立区）

東京都足立区では2014年1月から区役所窓口業務を民間委託しています。しかし法務局と労働局から偽装請負などの指導をうけ、現在は住民票写しの発行などに限定しています。市職員が民間委託の人に指導したら偽装請負です。そのため休憩中も言葉を交わすことはありません。民間委託の人は入れ替わりが多いですが、区は実態を把握していません。

岡山市では操南中で給食の民間委託の業者が撤退、代わりの業者を見つけるまでに余計に一三〇〇万円かかりました。何でも民間委託は問題です。